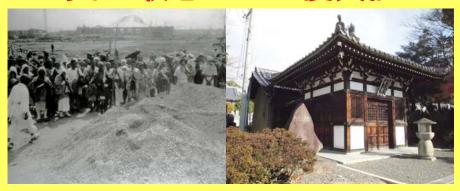
関東大震災から95年 **史上最悪からの復興誌**



本所の陸軍被服廠跡で犠牲者を荼毘にふしてできた 遺骨の山[北原糸子編『関東大震災写真集』(2010)より]

名古屋市千種区の日泰寺にある供養堂と由来碑 「武村撮影(2012)]

名古屋大学減災連携研究センター 武村雅之

関東大震災の被害集計

[東京市(1925)をもとに作成]

IP 4. 18	++ ch (+ ch)	j## - #-
歴史など おいまい おいり おいま おいま おいま おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	被害額(万円)	備考
皇室•宮内省	1225	宮城離宮御用邸・御料林陵墓他・庁舎
各省(10省)	21956	工作物(建物は除く)
東京市	366216	対象
東京府郡部	11491	河港、堤防、道路、橋梁、上水道、下水
横浜市	90354	道、船舶、電気事業、建物、家財什器、
神奈川県郡部	48131	工場、商品、在庫品、樹木(道路並木お
静岡県	2832	よび水道源林)
山梨県	693	
埼玉県	2465	民有林や田畑の被害は含まれていない
千葉県	5233	
茨城県	43	
合計(直接被害)	550639	
株式低落による損害	2338	
失業者數	249910人	うち、東京市:68866人
罹災世帯	694621世帯	1府6県の2284200世帯中、30,4%
罹災人口	3404898人	1府6県の人口11743000人中、29.0%
死者	91344人	
行方不明者	13275人	
重軽傷者	52074人	

表 1 明治以降の主な被害地震一覧

No	西暦年月日	地震名	M	Nk	死者数	全潰家屋数	主な被害原因
1	1923.9.1	関東地震	7.9	2.8	105,385	193,387	火災
2	1896.6.15	明治三陸地震	8.5	0.4	21,959	8,891	津波
3	2011.3.11	東日本大震災	9.0	6.8	18,526	126,220	津波
4	1891.10.28	濃尾地震	8.0	12.8	7,273	93,421	震動
5	1995.1.17	兵庫県南部地震(※)	7.3	9.1	5,502	50,000	震動
6	1948.6.28	福井地震	7.1	10.6	3,728	39,342	震動
7	1933.3.3	昭和三陸地震	8.1	1.3	3,008	4,035	津波
8	1927.3.7	北丹後地震	7.3	4.0	2,925	11,608	火災
9	1945.1.13	三河地震	6.8	3.1	2,306	7,221	震動
10	1946.12.21	南海地震	8.0	10.9	1,432	15,640	津波
11	1944.12.7	東南海地震	7.9	16.7	1,223	20,476	津波
12	1943.9.10	鳥取地震	7.2	7.1	1,083	7,736	震動
13	1894.10.22	庄内地震	7.0	8.3	726	6,006	震動
14	1872.3.14	浜田地震	7.1	8.6	552	4,762	震動
15	1925.5.23	北但馬地震	6.8	8.1	428	3,475	震動
16	1930.11.26	北伊豆地震	7.3	8.0	272	2,165	震動
17	1993.7.12	北海道南西沖地震	7.8	2.6	230	601	津波
18	1896.8.31	陸羽地震	7.2	27.7	209	5,792	震動
19	1960.5.23	チリ津波	-	20.4	139	2,830	津波
20	1983.5.26	日本海中部地震	7.7	15.2	104	1,584	津波
21	1914.3.15	秋田仙北地震	7.1	6.8	94	640	震動

※兵庫県南部地震については全潰数 100,284 は全半潰に対応し、全潰=半潰として真の全潰数を半分に推定

※主な被害原因が震動以外の場合は赤字とする

※武村雅之『地震と防災ー"揺れ"の解明から耐震設計まで』(2008)⁸⁾を元に作成

武村(2008)に加筆

近年の大震災との被害額の比較

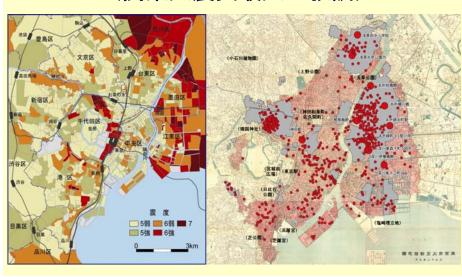
項目	関東	阪神•淡路	東日本
損害総額	55億円	9兆6千億円	16兆9千億円
GDP	150億円	510兆円	490兆円
GDP比	36.7%	1.9%	3.3%
国家予算	15億円	71兆円	92兆円
予算比	366.7%	13.5%	18.4%

*関東大震災はGNP(国民総生産)

GDP:国内総生産(国内で生み出される富の額)

住家の全潰と火災の関係

(関東大震災最大の教訓)



耐震基準の成立とその効果 「災禍の範囲を縮狭する」

建築技術は地震現象の説明学ではない。現象理法が明でも不明でも、之に対抗するの実技である。建築界は百年、河の清きを待つ余裕を有しない。(1924年初の耐震基準成立)

西暦年月日		М	死者数	主な被害原因
1923.9.1	関東大震災	7.9	105,385	震動(火災)
1891.10.28	濃尾地震	8.0	7,273	震動(火災)
1995.1.17	阪神・淡路大震災	7.3	5,502	震動(火災)
1948.6.28	福井地震	7.1	3,728	震動
1927.3.7	北丹後地震	7.3	2,925	震動(火災)
1945.1.13	三河地震	6.8	2,306	震動
1943.9.10	鳥取地震	7.2	1,083	震動
1894.10.22	庄内地震	7.0	726	震動
1872.3.14	浜田地震	7.1	552	震動
1925.5.23	北但馬地震	6.8	428	震動
1930.11.26	北伊豆地震	7.3	272	震動
1896 8 31	陸 33 th 震	72	209	震動
1896.6.15	明治三陸津波	8.5	21,959	津波
2011.3.11	東日本大震災	9.0	18,526	津波
1933.3.3	昭和三陸津波	8.1	3,008	津波
1946.12.21	南海地震	8.0	1,432	津波
1944.12.7	東南海地震	7.9	1,183	津波
1993.7.12	北海道南西沖地震	7.8	230	津波
1960.5.23	チリ津波	_	139	津波
1983.5.26	日本海中部地震	7.7	104	津波

- *武村(2008)「地震と防災-"揺れ"の解明から耐震設計まで」に加筆
- *東日本大震災は平成25年12月10日現在の警察庁発表資料
- *東南海地震は武村・虎谷(2015)による集計
- *死者数は地震による直接の死者数で関連死を含まない。
- *影付きは1950(昭和25)年以降の地震



佐野利器

1950年基金では準されるの準で、べ物基用よるのはない。

関東大震災の避難者の数(11月15日現在)

	9月.1日現在	死亡不明	11月	15日	
府県	人口	人口	罹災現存	人口	人口増減
東京府	4050600	70497	1495926	3634199	-416401
東京市	2265300	68660	1021956	1527277	-738023
郡部	1785300	1837	473970	2106922	321622
神奈川県	1379000	31859	1024071	1242532	-136468
横浜市	442600	23335	254556	311402	-131198
郡部	936400	8524	769515	931130	-5270
千葉県	1347200	1420	194318	1400655	53455
埼玉県	1353800	316	125801	1391098	37298
静岡県	1626300	492	90044	1646614	20314
山梨県	602000	20	34144	611812	9812
茨城県	1399100	15	32320	1428982	29882
(合計)	11758000	104619	2996624	11355892	-402108

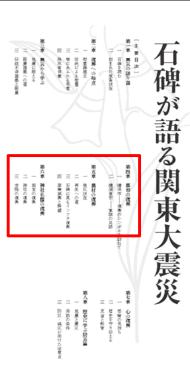
人口減少 (東京市·横浜市· 神奈川県郡部 773,972人 (死者100519名考慮)

人口増加 779,938人

東日本大震災の避難者数を内閣府が3カ月 後の6月2日にまとめた結果[内閣府(2011)] によると、被災地内も含めて約20万人

道府県	9月.1日現在		15日	
坦州乐	人口	罹災現存	人口	
北海道	2716600	9353	2725953	
青森県	781600	4916	786516	
岩手県	873100	3214	876314	
宮城県	981300	11708	993008	
秋田県	922600	5843	928443	
山形県	989800	6357	996157	
福島県	1416100	14741	1430841	
栃木県	1089500	24783	1114283	
群馬県	1096500	18687	1115187	
新潟県	1807000	29809	1836809	
富山県	735300	9854	745154	
石川県	755500	7371	762871	
福井県	601600	5051	606651	
長野県	1620200	19744	1639944	
岐阜県	1101000	6764	1107764	
愛知県	2185600	23118	2208718	
三重県	1082600	8317	1090917	
滋賀県	655500	4126	659626	
京都府	1361900	8309	1370209	
大阪府	2889700	34095	2923795	
兵庫県	2442600	18793	2461393	
奈良県	572400	1327	573727	
和歌山県	772000	1361	773361	
鳥取県	462200	735	462935	
島根県	707400	1017	708417	
岡山県	1238700	2125	1240825	
広島県	1573400	2917	1576317	
山口県	1058000	1900	1059900	
徳島県	678100	836	678936	
香川県	678400	960	679360	
愛媛県	1070700	1696	1072396	
高知県	683400	979	684379	
福岡県	2382800	3672	2386472	
佐賀県	674900	1212	676112	
長崎県	1175400	1477	1176877	
熊本県	1255100	1276	1256376	
大分県	871100	1358	872458	
宮崎県	688600	543	689143	
鹿児島県	1478400	1414	1479814	
沖縄県	596900	1697	598597	







東京における帝都復興事業

たが(-00・) ひ 山 間 及 た 子 木							
対象事業	主体	事業内容					
土地区画整理事業	(市)	50地区2400ha、町名地番の整理					
工地区回定理事業	(国)	15地区590ha					
	(市)	補助線街路(幅員11-22m)122路線139km、区画整理街路(幅員3-27m)					
街路事業	(11)	492km、舗装主要街路95km、既設道路の復旧改築					
 	(国)	幹線道路(幅員22m以上)52路線119km、街路舗装、砂利採取場2箇所					
	(府)	国道改修(京浜国道他4路線16km)、環状線7線9km、放射線2線2.9km					
	(市)	補助線街路134橋、区画整理関連52橋、改築84橋、					
	(111)	補修仮橋194橋 (合計464橋)					
橋梁事業	(国)	幹線街路96橋(隅田川6橋を含む)、運河改修関連15橋、					
	(国)	区画整理関連1橋 (合計112橋)					
	(府)	六郷橋(神奈川県と共同)、千住大橋、千住新橋架橋					
河川運河事業	(国)	改修11路線、新削1路線、埋立1路線					
公園事業	(市)	学校隣接の小公園51箇所(合計15.5ha)					
五国于木	(国)	3大公園(隅田13ha、浜町3.6ha、錦糸町5.6ha)					
地下埋設·街路工作物	(市国)	応急的工事の負担総額3700余万円					
学校建設事業	(市)	鉄筋コンクリート造3階建117校(震災前よりの継続5校を含む)					
子仪建议争未	(府)	中学校など5校新築					
上水道事業	(市)	復旧及び拡張(和田堀浄水池、山口貯水池の新増設など)					
下水道事業	(市)	復旧及び焼失地全域への敷設					
塵芥処分設備	(市)	塵芥取扱所27ケ所、処理工場2ヶ所(4工場)					
病院建設事業	(市)	市立病院復旧1箇所、新設5箇所					
社会事業施設	(市)	職業紹介所18、婦人授産場5、託児・児童相談所10、公衆食堂10、					
社去事未	(111)	簡易宿泊所10、浴場10、市営質屋7					
中央卸売市場建設事業	(市)	中央卸売市場築地本場、神田分場、江東分場					
命与事業拡張	(市)	市電軌道新設復旧93ヶ所、電線路1303ヶ所、発電所1ヶ所、					
電気事業施設	(11)	変電所・開閉所復旧22ヶ所、車輌復旧新造770台、建物97ヶ所など					
防火地区指定	(市国)	用途地域変更: 甲種防火地域523ha、乙種防火地域581ha					
防火耐震建築奨励	(市国)	防火地区建築費補助(2000万円)、復興建築助成会社設立、					
奶入耐辰建築尖 伽	(市国)	地質調査実施、市民向け講演会・講習会					

第4章 都市の復興

関東大震災の復興に関しては国の関与は極めて限定的であり、 東京市と横浜市を対象とした帝都復興事業の一部に見ることが できる[例えば、北原(2016)]。帝都復興事業の結果整備された 橋梁や街路、公園などは今日でも確認することができる

対象事業	主体	事業内容
土地区画整理事業	(市)	7地区165ha
上地区回 壁理事果	(国)	6地区165ha
	(市)	10路線13km、路面・側溝・土留・石垣などの復旧工事
街路事業	(国)	13路線約30km
	(県)	京浜国道改修7.2km中路面舗装・六郷橋一部、街路工事など
橋梁事業	(市)	63橋
何未尹未	(国)	24橋、運河改修に伴う改築11橋
河川運河事業	(市)	千代崎川・滝ノ川(総延長約7km)、破損した河川護岸の修築
河川建川事未	(国)	大岡川·帷子川改修(総延長約5km)
公園事業	(市)	既設の横浜公園並びに掃部山公園(8.0ha)の改修
公園事業	(国)	野毛山公園(8.3ha)、山下公園(8.2ha)、神奈川公園(1.3ha)の造営
学校建設事業	(市)	小学校31校、商業学校1校
于权廷战争来	(県)	商工実習学校・高等女学校・女子師範・第一中学校・工業学校新営業修繕
上水道事業	(市)	復旧及び新築拡張、導水管約92700余m、野毛山・西谷浄水場の配水池な どの新設
下水道事業	(市)	186haの汚水、雨水処理設備の建設
病院建設事業	(市)	横浜十全病院(現、市大附属病院)など新築
社会事業施設	(市)	職業紹介所3、公設市場4、簡易食堂2、託児所2、公設浴場3を建設
中央卸売市場建設事業	(市)	山内町(4.5ha)に本場、寿町(0.5ha)に分場建設
		(電気軌道事業)軌道改良復旧66力所、電線路改良復旧62力所、変圧所復
電気事業施設	(市)	旧2力所、車輌新造改良1062台
-		(電気供給事業)建物新設復旧2、変電所復旧4、電燈・電力取り付け
防火地区指定	(市国)	用途地域変更: 甲種防火地域62ha
防火耐震建築奨励	(市国)	防火地区建設費補助、復興建築助成会社設立、地質調査、建築補導

*震災前は横浜公園と掃部山公園で市の面積の0.2%、六大都市中最低

区画整理に費やした人々の努力の跡



台東区の御徒町公園にある第31区 の区画整理完成の碑(2010.7.4)

「本地区は南北に通ずる幹 線第一号、東西に通ずる幹 線第二十二号を始め、補助 線区画整理線等多数**街路** の新設拡築、神田川の改 修、小公園の新設等、新規 に用地を要する施設多く、 為めに事業遂行上頗る困 難を極めたりしも、土地区 画整理委員会の公正なる 審議と地区民の協力を得、 大正十三年三月本事業に 着手せられて以来、換地設 計、移転工事等極めて順調 に進捗し、昭和四年三月二 十二日、他の地区に率先し て換地処分を決せられ、茲 に全く事業完成を見たり」

第5章 農村の復興 (農地の復興)

No	慰霊対象地域(当時)		町村と場所	死者数	慰霊碑名	建立年	建立者など
1	稲田村菅(詳細不明)	川崎市多摩区管馬場	臨済宗玉林寺	-			第12世大塚春應代
2	浦賀町	模須賀市西浦賀1丁目	西浦賀町船着場脇	(296)	関東大震災慰霊塔	昭和47年9月1日	宮下、紺屋、蛇畑町会(再建
3	浦賀町走水	横須賀市走水2丁目	净土宗覚栄寺	36	大震災供養塔		覚栄寺など隣接3寺院の住職
4	衣笠村小矢部(詳細不明)	模須賀市小矢部3丁目	曹洞宗大松寺	-	大震災殃死者重魂塔(地蔵)	大正14年9月1日	地元女性17人(3回忌)
5	鎌倉町由比ヶ浜	鎌倉市由比ケ系2丁目	和田塚	-	大震災殃死者供養碑	昭和10年9月1日	由此ヶ浜区(13回忌)
6	腰越津村(含む江ノ島)	鎌倉市腰越2丁目	净土宗浄泉寺	79	震災殃死者供養塔	大正13年9月1日	草繋全宜住職(1周忌)
7	川口村	藤沢市片瀬2丁目	上諏訪神社	33	震災記念碑	大正13年9月1日	氏子総代など16名(1周忌)
8	藤澤町	藤沢市藤沢	金砂山観音·鼻黒稲荷	116	震災記念碑(嗚呼九月一日)	昭和4年9月1日	町内の個人、団体(7回忌)
9	平塚町	平塚市幸町	善性寺墓地(移転)	-	震災殃死者慰霊碑	昭和4年8月	加納智珠・住民(丹精者)
10	須馬村	平塚市札場町	真言宗長楽寺	75	大震災殃死者供養塔	大正14年9月1日	住民54名(3回忌)
11	小出村(詳細不明)	茅ヶ崎市堤	曹洞宗正覚院	4or5	震災供養碑(嗚呼九月一日)	昭和10年頃	住職(29世)と有志(13回忌)
12	寒川村一之宮	寒川町-之宮1丁目	一之宮八幡大神	18	大震災記念碑	大正15年9月1日	住民22名、戦友会、青年団
13	大田村	伊勢原市下谷	大田小学校隣地	35	大正震災記念碑	大正13年3月	中郡大田村青年団
14	大田村沼目	伊勢原市沼目1丁目	臨済宗泉龍寺(移転)	-	震災死者追善地蔵草	昭和8年9月	医師岡田鎌吉(邸内建立)
15	相川村上戸田	厚木市戸田	子易神社	7	震災記念碑	昭和10年9月1日	上戸田の住民(13回忌)
16	相川村中戸田	厘太市戸田	中戸田八幡神社	10	震災財雷碑	昭和4年9月1日	中戸田の住民(7回品)
17	相川村戸田、長沼、小嶺	厚太市上落合	净土真宗長徳寺	-	大霧構死者供養塔(地蔵)	大正14年9月1日	住民5名(3回品)
18	相川村	厚太市酒井	相川中学校隣地	(31)	大震災記念碑	大正13年9月1日	相川村による(1周忌)
19	海老名町	海老名市中新田2丁目	净土宗增全寺	28	爾災構死者則電塔	昭和2年8月	增全寺34,5世玉城荘全住
20	厚木町	厘太町(大橋際)	厚木神社協地	(64)	震災記念碑(あヽ九月一日)	大正13年9月	厚木町有志(1周忌)
21	型川村	愛川町半原	日蓮宗妙誠寺	22	大震災殃死者財雷塔	昭和4年9月1日	半原山身延参拝団(137名)
22	島屋村	相模原市線区島屋	島屋·地震峠	16	大震殃死諸籍常禕	(不明)	鎌倉大町清田又イ
23	東奏野村名古木·落合	泰野市名古木	曹洞宗王伝寺	18	大震災殃死者供養塔	昭和2年9月1日	念佛講、寺世話人一同
24	大根村瓜生野	奏野市南矢名	曹洞宗龍法寺	8	罪災殃死者供養塔	昭和10年9月	瓜生野一同(13回忌)
25	奏野一町五ヶ村	秦野市河原町	河原町児童公園	224	罪災殃死者供養塔	昭和5年9月1日	発願者3名、世話人178名
	川村	山北町山北	山北国道脇路傍	21	需災復興記念碑		住民57名と戸主会(3回品)
27	共和村	山北町皆瀬川	旧共和小学校	11	爾災供養塔	大正14年4月	共和村(3回民)
28	三保村大又沢	山北町大又沢	地蔵平	4	大震災殉難者精霊碑	昭和2年8月	住民29名(発記人6名)
	三保村		神尾田神社(移転)	-			住民16名(再建)
30	固本村沼田	南足柄市沼田	净土宗西念寺	16	罪災犠牲者集合位牌	震災直後	寺院閣任者
31	国本村基河原	南足柄市塚原	路傍		震災記念碑	震災直後	基河原住民
32	仙石原村	箱根町仙石原	曹洞宗長安寺	3	関東大震災供養塔	大正12年12月16日	仙石原村有志(100ケ日)
33	片浦村米神	小田原市米神	正寿院墓地	74	大震災殃死者追悼碑	昭和2年9月1日	住民(世話人4名)
34	片浦村根府川	小田原市根府川	曹洞宗岩泉寺	289	秧死者供養塔	大正14年8月12日	遺族一同
٥,	A # 1-	法士士集員して	D#######	(int)	万霊塔	大正13年8月	托鉢で浄財を集め1周忌追
ప	伊東町	伊東市物見ケ丘	日蓮宗仏現寺	(105)	五輪塔	大正13年9月1日	会に合わせて確立

1899(明治32)年制定の罹災救助基金法 罹災民への救援・救済は、郡役所が中心 となって県などへ働きかけて、炊き出し米 や飲料水の確保、さらには小屋掛けなど が行われることになっていた。府県市によ る罹災救助基金で賄われ、不足分は国が 補助するという仕組み。

*実際には義捐金が使われた

御下賜金

9月3日:天皇陛下から1000万円(約500億円)の御下賜が閣議決定

天皇陛下からの御下賜金の配分額

交付する被災の範囲	金額(円)	備考
死亡·行方不明者	16/人	震災地に居住か滞在
負傷者	4/人	1週間以上医師の治療
住宅全焼、全流失	12/世帯	
住宅全潰	8/世帯	震災地の世帯に限る
住宅半焼·半潰·半流失	4/世帯	

土地改良制度の歴史

1899(明治32)年制定:耕地整理法制定

所有者が共同して交換分合などにより、分散所有地の集団化、 一枚一枚の区画の正形化や広域化、さらには道路の直線化等 によって耕作の便を改良するのが目的

1905(明治38)年には対象が灌漑排水事業に拡大 1909(明治42)年の改正:単なる区画整理中心の事業から開墾 を含めた広義の土地改良が主体となる(事業は土地所有者の共 同施工から耕地整理組合という法人による施工へ 1919(大正8)年には開墾助成法:開墾、埋め立て、干拓と灌漑 排水施設や道路堤塘の整備に助成金を交付する

1923(大正12)年、用排水改良事業補助要綱: 受益面積500町歩以上の用排水幹線または設備の改良事業に対して50パーセント以内で国庫補助が行われるようになった。

復興碑から読める農地の復興費用

No	復興碑	所在地	建立年	西暦	組合名	灌漑面 積(町)	組合 員数	起工(組合 設立)	竣工年	総工費 (円)	公的補 助(円)	各自拠 出(円)	補助率(%)	当り	備考
1	江之浦、 耕地復旧記念碑		昭和5年 8月	1930	江之浦	77	77	大正13年 10月25日	昭和3年 11月10日 (御大典)	129717	64123	65594	49	852	補助金内訳:県10195円、開墾助成 金14928円、低利資金39000円 その他:開墾助成法により40戸に 8000円の家屋建築補助あり。
2	根府川、 耕地復旧記念碑		昭和16年 7月	1941	根府川	151		大正13年 10月	昭和3年 8月	96000					
3	怒田、 震災復旧記念碑	用足物印彩田田田	昭和2年 4月	1927	怒田	22余	67	11月	昭和2年 4月	73000余	27832余	45168	38	674	補助金内訳:県16532円、開墾助成 金4300円、低利資金7000円
4	弘西寺堰碑	南足柄市苅野路傍 (足柄神社近)	2月	1928	弘西寺堰	26	66	大正13年 2月	大正15年 8月	80000					起工時に起債認可を得る
5	川入堰碑	南足柄市苅野路傍 (苅野原)	大正13年 11月	1924	川入	12	56		大正13年 9月10日	58500					南足柄村と北足柄村にまたがる。北 分(関場部)は約5町
L					内山	62	231			63544					北足柄村での主な復旧碑
L					山平	38	102	大正13年		47790					修理役場費 1600円 隔離病舎費 2700円
6	北足柄村、 震災復興碑	南足柄市内山路傍	大正15年 6月	1926	矢倉沢	32	85	1月 (村全体の	(工期3年)	49420					北足柄小校費 2400円
L	原义18.9414		073		地蔵堂	7	25	復旧工事)		19600					矢倉澤小校費 1700円 村道15か所、橋梁8か所、
L					川入関場	5	29	İ		30000					場防2か所 27242円
7	用沢、 不動堤之碑	山北町用沢北路傍	昭和9年 10月	1934	用沢	5	49	昭和5年 11月	昭和9年 8月末	46800	23060	23740	49	484	補助金は県による
8	岩流瀬、 震災復旧記念碑	岩流瀬地蔵堂 (山北町岸)	大正15年 4月	1926	岩流瀬堰	66	254	大正13年 3月27日	大正15年 (主要工期 30日)	70000余	49000余	21000	70	83	補助金内訳: 県30000余円、低利資金19000円。各自醵出に対しては開墾助成法交付金による利子補給あり
9	金子、 耕地整理記念碑		昭和11年 11月	1936	金子(金 田村)	190余			昭和11年 3月	129307	33890	95417	26		補助金は国による
10	荻窪灌漑溝 復興碑	市方神社 (小田原市荻窪)	昭和3年 8月	1928	荻窪·水 尾等5部 落	60余		大正12年	大正14年 6月	290000	163000余	127000	56		補助金は国から。昭和12年以降は箱 根登山鉄道が発電利用で維持・管理 に当る
11	文命用水碑	福澤神社 (南足柄市怒田)	昭和11年 7月	1936	酒匂川右 岸の町村	700		昭和3年 7月	昭和8年 3月	570000余	554000	16000余	97		補助金は国、県、発電事業者から。6 堰併合統一、発電も付加する
12	酒匂川用水碑	三角堤公園 (松田町松田総領)	昭和12年 5月	1937	酒匂川左 岸の町村	千数百		昭和7年 12月	昭和12年 3月	360000	270000	90000	75		補助金:国180000円、県¥90,000 (用排水改良事業補助適用)
13	金瀬川築堤碑	小田原市成田路傍	大正13年 9月	1924	豊川村	100			大正13年 9月	20000	国・県よ り助成				事業は大正3年4月から同4年8月で 完成。堤防の震災復旧
14	豊塚堰記念碑	朝日橋際公園 (戸塚区戸塚町)	大正14年 春	1925	戸塚町外 ニヶ村	40		震災直後	大正14年 2月	12000	鉄道省 より助成				事業は明治38年から8年間で完成 (280町)。樋門の震災復旧。鉄道工 事と絡み助成を受ける

総工費は5万~13万円(約3億~7億円)程度で、公的な補助(県補助金、開墾助成、 低利融資等)の率は平均で50パーセント程度、地主ー戸当りの負担額は、組合 員数が多い岩流瀬堰以外では500円~900円(250万~450万円)となる。

復興碑から読める農地復興を担った関係者

24	川入堰碑⑤ (大正13年11月建立)	岩流瀬、震災復旧記念碑(E) (大正15年4月建立)	北足柄村、震災復興碑⑥ (大正15年6月建立)	怒田、震災復旧記念碑③ (昭和2年4月建立)	弘西寺取碑(4) (昭和3年2月建立)
124	中奈川県	工事設計並監督	土木課長 高田景	神奈川県知事 池田宏	神奈川知事 池田宏
100	整務課長 草柳正治	神奈川県農林技手	農務課長 草柳正治	農務課長 草柳正治	農務課長 草柳正治
15	N技師 田中十三男	佐藤吉太郎	地方課長 安藤喜八	農林技師 矢儀平一	県技師 野呂勇之助
l in	具体産業技師 矢備平一	20.03 (29.05	県技師 田中十三男	五糖粉造	田中十三里
- 1-	西部時 游	黒田李一	農林技師 矢備平一	佐藤吉太郎	農林技師 矢備平一
果		知典正原	吾鄉精造	農林技手 福島正廣	吾郷精造など
25 6	企業技手 佐藤吉太郎など		土木技手 佐藤盛亮	出興三好	農林主事補 末度得など
	企業主事補 川田萬吉		小澤利一		農林技手 佐藤吉太郎
1"	EMTAIN MINISTER		土木助手 長窪一治	(上記3名が設計ならび	(松田耕物出張所長)
- 1			農林技手 佐藤吉太郎など	(に工事監督)	農林技手 福島正廣など
- 6	2柄上郡長 田中柘雄		足柄上郡書記 瀬戸保練など	12工中版目/	足柄上郡長 田中紡績
	上足板村長 磷酸金清		北足柄村		東京新村
	医足柄针灸 煽喝亚滋		村長 磷酸金清		
42 14	机化物针纹 医环状态				村長 井上宗理
-			助役·収入役·書記·村会議員	然田耕地菸理組合	助役 関野光之助
	1入耕地整理組合	岩流瀬堰耕地整理組合	在輝軍人会北足柄村会会長		耕地整理組合
	自合長 武井良哲	組合長 府川重太郎	北足柄村青年団長	組合長 市川貿太郎	組合長 實方富士太郎
	社合副長 柏井孫三郎	組合副長 兵華鶴吉	区長・土木委員	組合副長 髙橋宇三郎	組合副長 内田政吉
- *	自合副長 磁岭新之助	評議委員 小菅正文など 組合会議員 小塚新吉など	内山第一/第二耕地整理組合 組合長 矢後松晴		
	战地所有者 矢野谷右工門	後接者 松田町耕地整理組合	平山/同柑橘耕地整理組合	創立委員(2名)	
nes ja	·碑発起者(41名)		組合長 磁崎為治	建碑委員(6名)	建碑発起人(5名)
1 10		El accessor and accessor and	矢倉沢本村/同柑橘輔地禁環組合		
200	江ノ浦、耕地復旧記念碑①	用訳、不動堤之碑の	組合長 杉山常次郎	金子、耕地整理記念碑⑨	根府川、耕地復旧記念碑②
94	(昭和5年8月建立)	(昭和9年10月建立)	地蔵堂耕地整理組合	(昭和11年11月建立)	(昭和16年7月建立)
100	4. 4. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6. 6.	神奈川県知事 横山助成	組合長 和田見治	神奈川県	神奈川県知事 清野長太郎
100	a林大臣 早速整爾·他2	耕地整理課長 芝油黄吉	川入蝦耕地整理組合/開場部	農務課長 草柳正治	農務課長 草標正治
2	·奈川県知事 清野長太郎·他3	地方意林技師 川地俳精	組合副長 柏井孫三郎	耕地課長 芝油黄吉	小田原出張所長 黒田李一
- lit	熱器長 草柳正治	採用課	柏木金太郎	地方農林技師 吾弊精造	技手 土橋摩三郎
	九方技師 矢備平一	農林主事補 川田万吉など	建磷类黄長 磁崎全造	尾上產六	農商務技手 君島青など
- le	自地方技师 野名勇之助	松田輔地整理出張所所長	建跨委員(14名)	佐藤吉太郎など	MINISTER STREET
M "	自地方技師 吾郷精造・他1	里田本一	是年金典(14日)	主事権 小川〇米	
	7年 大津新太郎	無量設計者	- 12 T E	技手 津久井丈夫	
	N田原出張所長 黒田本一	農林技手 比爾三好	A STATE OF THE PARTY OF THE PAR	WT #ANAA	
	************************************	農業助手 仕澤 近など	A STREET OF THE REAL PROPERTY.		
	1000年 1000年	原本的十 江海 五なら	THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED IN COLUMN TW		
	自足柄下路長 伊藤龍雄		AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE		
	 足柄下部技手 東彌三郎		で 製造 (表演) (2017年) (30 mm) (30 mm	組合概託 伊藤清	
- 17	7.浦村	清水村	经验证 有限	MISSAL UMA	
		村長 細谷力蔵・他3	AND THE RESERVE OF THE PARTY OF		
	長 青木林太郎		建设设计区域 集员用设计设计设计设计		
	エノ浦耕地整理組合	用沢耕地整理組合	THE CHARLEST STREET, SALES	組合設立発起人	根府川耕地整理組合
	包可後役員	組合長 山崎喜一郎		小野金太郎など	組合長 廣井常右工門
	B合長 一井磯右衛門	組合副長 大野巳之助		組合長 中根直吉	副組合長 廣井惣之助
	B合副長 朝倉金蔵	評議委員 池田 茂など	THE RESERVE THE PARTY NAMED IN	組合副長 鈴木清太郎	副組合長 矢子金太郎
4 2	於計係·工事監督3·他6		THE RESERVE THE PARTY OF THE PA	蘇澤喜之助	(以上、初代。以下に2代目か
- 18	見在役員			評議員 中根善太郎など	ら4代目までの9名の組合長、
	組合長 高橋重吉		南足柄市内山の路傍に建つ碑	組合会議員 小野新吉など	副組合長の名前が記載されて
84	自合副長 高橋友哉		裏にびっしりと関係者名が刻ま	事務員 間宮彦三など	いる)
	計係-工事監督3-他6		れている		SATER
1 24	自合副長 高橋友哉		裏にびっしりと関係者名が刻ま		

岩流瀬堰(がらせぜき)耕地整理組合の場合(補助率70%)

(地震による被害)

水路は原形をとどめない。応急措置として富士瓦斯紡績に協力を求め、取水口の開鑿をしてた。

(本格復旧): 耕地整理法の適用を受ける

11月30日:安河内麻吉神奈川県知事に耕地整理測量設計願を申請

12月25日:矢儀技師の出張を受けて 耕地整理の説明を受ける 2月:組合設立、県より佐藤技手が派遣され、設計書の作成指導

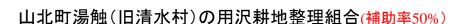
3月20日:般若院で地主総会、 満場一致で申請書手続きを進める。

3月25日に認可、

3月27日に起工

5月4日に幹線水路の通水を完了し、 田植えに間に合う。





(被害状況)

周辺では家屋の倒壊、山林の崩壊、耕地の埋没が起り、特に用沢では水田6町歩余が悉く流出して河原となった。住民は生活の糧を無くして破産し郷土を離れるものも出てきた。

(本格復旧): 耕地整理法の適用を受ける

篤農家の山崎喜一郎が、部落員49名をまとめて耕地の復旧に当る。 昭和4年10月:河内川の一部を埋め立てる免許を得る。 昭和5年11月:旧耕地と合わせて用沢耕地整理組合を設立。

山崎組合長は日夜寝食を忘れ 東奔西走し組合員も協心戮力、 県当局の援助を得て

昭和9年8月末日:全工事が完成





第6章 神社仏閣の復興

(1) 国宝の復興

建長寺と円覚寺/鎌倉大仏/鶴岡八幡宮一の鳥居/鎌倉国宝館

(2) 神社の復興

畏敬の念/復興の費用/鳥居の再建/モニュメントになる倒壊鳥居 コラム8 鳥居が語るエピソード

(3) 寺院の復興

戮力協心/復興の費用/今も続く復興/墓碑に住職の奮闘を偲ぶ コラム9 お寺に伝わるエピソード

1897(明治30)年の古社寺保存法で、国宝と特別保護建造物には国庫から保存金。一般の神社や寺院では、一部の神社には県などから補助があったようであるが、氏子や檀家など住民の支えが主体であることは今日と変わらない。

社格(1946(昭和21)年時点)

神社数は全国で約11万社、無格社が約6万社、村社が約4万5千社、郷社が約3600社、官社と府県社は残り1400社ほど。(神奈川県での官社は鎌倉宮、寒川神社、鶴岡八幡宮、箱根神社の4社のみ)

復興碑から読める神社と寺院の復興費用

#	社の復興碑												
No	所在地	住所	碑名·出典	建立年	西暦	主な対象	総工費	公的補	寄任	寸金(円	(寄付	備考
NO	所任地	1±191	饵石 五典	建立牛	四層	土な対象	(円)	助(円)	総額	最高	平均	者数	调考
1	三島神社	小田原市千代	震災復興記念碑	昭和4年10月	1929	社殿·神輿	3533		3533	53	44	81	
2	宗我神社	小田原市曽我谷津	神社のしおり	昭和3年	1928	拝殿	16000		16000		50	320	人数は鳥居復旧碑の氏子数から算出
3	岸八幡神社	山北町岸	社殿改築記念碑	大正15年4月	1926	社殿·石垣	2720余	106	12088	1600	44	275	前の工事に数千円。復興工費2720 余円、県の復興補助106円(震災誌
4	室生神社	山北町山北	川村震災記念誌	大正15年6月	1926	社殿など全域	39356	1098	38258		50	760	氏子労働提供延1000名(震災誌)
5	正八幡神社	秦野市堀山下	震災復旧記念碑	大正15年2月		不明	1917		1917	100	5	389	碑の摩耗により194人分から推定
		茅ヶ崎市小和田2丁目				神楽殿·鳥居	4534		4534	300	12	364	
	山際神社	厚木市山際		大正14年9月		社殿移転	6700		6700				
		相模原市南区上鶴間本町				神社再建	8917		8917	330	58	154	
	旧滝口明神社	藤沢市片瀬3丁目		昭和3年8月		社殿·鳥居	5797	1231	4566	200	19		公的補助は神奈川県から交付
	大庭神社	藤沢市稲荷	復興碑			社殿再建	10000		10443	380	32	327	他に幕など物の奉納14人
	亀井神社	藤沢市亀井野		昭和10年4月		社殿·石垣	5300		5300		30	174	
	諏訪大神社	横須賀市緑が丘	大震災記念碑			社殿·社務所	18000		11891	2316	1189		町平均、工費寄付18000円(震災器
		横浜市南区真金町	三社復興碑	大正13年6月		境内三社殿	1645		1645	100	28	59	他に公孫樹奉納1人
	橘樹神社	横浜市保土ヶ谷区天王町	震災復興記念碑	昭和5年3月	1935	社殿再建	25000	3953	21047	oxdot			公的補助は神奈川県から交付
+	院の復興碑												
No	所在地	住所	碑名·出典	建立年	西暦	主な対象	総工費	寺負担	寄付金(円)		寄付	備考	
							(円)	額(円)	総額	最高	平均	者数	ин-гэ
15	浄土宗春光院	小田原市鴨宮	堂宇新築記念碑	昭和10年8月	1935	本堂など	17000		17000		121	140	檀信徒労働提供延1000名
16	曹洞宗香集寺	山北町向原	震災復興費	大正15年9月	1926	移転復興	8000	3000	5000		161	31	寺負担38%、檀信徒労働提供のペ 600名、県の砂防工事に数千円
17	曹洞宗大岳院	秦野市今泉	本堂再建寄附者名碑	昭和4年12月	1929	本堂	8548	200	8348	180	36	234	寺負担2%、労働提供のペ745名
18	真言宗滿福寺	鎌倉市腰越2 丁目	復興記念碑	昭和7年5月	1932	本堂	4130		4130	100	46	90	ほかに欄間8枚奉納1人
19	臨済宗海蔵寺	鎌倉市扇ガ谷4 丁目	復興碑	昭和5年7月	1930	本堂	9920	1500	8420	300	107	79	寺負担15%
20	臨済宗建長寺	鎌倉市山ノ内	仏殿唐門重修碑	大正15年5月	1926	仏殿·唐門	50500	7966					寺負担16%、国宝に補助42534円
21	臨済宗円応寺	鎌倉市山ノ内	震災復興碑	(不明)		一般の仏像	2500		2500				小泉三申氏が全額寄付

* 指定村社(神饌幣帛料供准社)以上の一部に県から補助(総工費の20%程度) (神社) 総工費は3000円から4万円(1500万円から2億円)まで様々であるが、氏子 の平均の寄付額は一部例外を除くと20円から60円(10万円から30万円)程度である。

(寺院) 檀信徒の寄付平均40円から120円(20万円から60万円) 神社の氏子数のほうが寺院の檀信徒数よりも総じて多い。記念碑の建立時期は 神社のほうがやや早い?

藤原咲平

東京大手町の中央気象台(現在の気象庁)で(のち中央気象台長)

「大火災も既に予言されてある。大森博士の地震学の本にも今村 博士の本にもあった様に思うが、東京に大地震があれば水道管が 破壊するであろう、其の結果大火事になる所があると警告してあった。・・・併し白 状するが此時にも気象台が焼けるとは考えなんだ・・・自分は始めまさかと思うて 居って其の為に困難に陥り大切な物も燃やして仕舞った。あんな時に落付いて 居って火災に関する警告をいち早く発したならば多少の効果はあったかも知れぬと



地震直後の中央気象台(現在の 気象庁)の建物と火災による雲 (東京市編写真帳(1930)『復興』)

「此時にも(まさか)気象台が焼 けるとは考えなんだ!」

寺田寅彦

地球物理学者で随筆家(上野の二科展の会場で)「震災日記より」

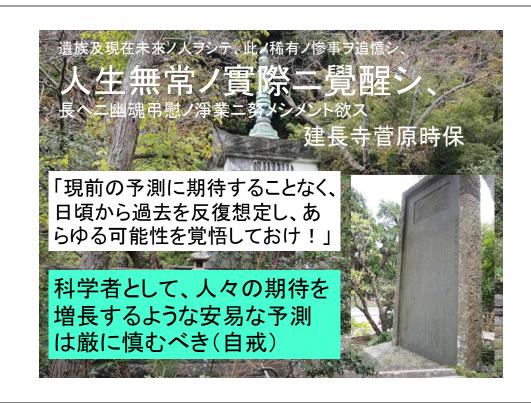
「無事な日の続いているうちに突然に起った著しい変化を充分に リアライズするには存外手数が掛かる。この日は二科会を見てから 日本橋辺へ出て昼飯を食うつもりで出掛けたのであったが、あの 地震を体験し下谷の方から吹上げて来る土埃りの臭を嗅いで大火を 予想し東照宮の石燈籠のあの象棋倒しを眼前に見ても、それでもまだ昼飯のプ ログラムは帳消しにならずそのままになっていた。」

東日本大震災の時

地震発生と同時に東日本の太平洋側の 地域で強く異常に長く続く揺れを感じ、多 くの人々の脳裏を「津波」の2文字がかす めたにも係らず、適切な避難行動がとれ ずに亡くなった人々も、寺田寅彦がいう 「リアライズ」のむずかしさに直面して不幸 な結果になってしまったのではないので しょうか。



毎日新聞による



人間の得意なこと

苦しき試練は、人を偉大ならしめ、 大災の人生に与うる教訓の深甚、 測り難きもの存す。 是を永久後世に伝う。

(亀井神社:藤沢市亀井野)





天変地妖は人力の如何ともするべき所に非ずと雖も、 災禍の範囲を縮狭し、**救済の** 道をして遺算なからしむるは 人事の敢て能くする所ナリ・・・ (小和田熊野神社:茅ヶ崎市)

国·地域	金額(円)	備考
アメリカ合衆国本土・領土	14,989,314	うち本土14,115,872円、領土:ハワイ、 フィリピン諸島
		フィリニン語島 うち本土2.230.730円、領土:マレー、インド、
英国本土・領土	4,204,092	カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど
中国	1,657,142	,, (,,, ,,,,,, = , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
オランダ本土・領土	377,762	うち本土84.014領土: 蘭領東インド
フランス本土・領土	254,691	うち本土121,788円、領土:仏領インドシナ、 ニューカレドニア
ペルー	183,607	_ ,,,
ベルギー	144,643	
メキシコ	136,189	
英国保護領及び租借地	72,948	シンガポール、威海衛(中国)など
シャム	61,563	現在のタイ
スウェーデン	57.606	
アルゼンチン	51,057	
イタリア	41,426	
チェコスロバキア	29,100	
スイス	25,274	
チリ	17,878	
ドイツ	15,821	
ブラジル	14.090	
ボリビア	10,685	
ロシア	10,585	
キューバ	10,402	
ポーランド	5,728	
エジプト	4,615	
パナマ	3,958	
ラトビア	3,860	
スペイン	3,850	
ポルトガル	1,472	
イラク	1,341	
ノルウェー	1,170	
トルコ	194	
オーストリア	186	
ルーマニア	35	
総額(大正13年4月現在)	22,403,328	在留邦人4,158,297円、外国人17,754,008円 、他491,023 (実合計:22,392,285円)
総額(大正13年10月現在)	22.707.551	東京市(1925)『震災二因ル日本ノ損失』より

国別の義捐金額

[『外国義捐金品一覧表』 外務省通商局(1924)より作成]

日本では被災するしないを問 わず全国民があらゆる機会に 謝意を表した

- 新聞各紙の感謝の意
- ・ウッズ米国大使が帰省する際には、都民数万人がこれを見 送り、大使の労に感謝
- ・フィリピン救護団の帰国に際しては、阪神市民の多数がこれを歓待した。
- ·都下の各大学生が主催し感 謝署名帳を救助諸国の元首に 贈呈:数十万人の署名が10日
- ・国会・各地方自治体・実業団体などの感謝の決議
- ・感謝会は枚挙にいとまなし。

愛知・名古屋の例



日泰寺の慰霊碑



〇県は直ちに救済費の支出を決め,救援物資の輸送,救護班の派遣(100名職員、200名警察官). 〇9月5日には愛知県知事,名古屋市長,商業会議所会頭などを中心に愛知県救済会を発足させた.

県内への避難民は9月 4日午後4時に名古屋 駅に到着した300名を 最初に9月30日までに 総計で15万742人に達 した。



世島にめつに旧名百座駅前の様子(昭和8年頃) 久住(1999)『目で見る名古屋の100年上巻』より]

- 〇 これに対して青年団, 在郷軍人会, 婦人会, 信仰団体, 社会事業団体などが救護にあたった.
- 〇当初避難者に対し名古屋市は取りあえず名古屋駅前 広場に大天幕を張って応急宿舎にした
- ○寺院,教会,富豪はもとより一般市民も貧者の一燈に 至るまで宿舎の提供を申し出る者が跡を絶たず,県市の 救護活動上多大の便宜を得た

(「大正震災志」下巻より)

最後に



在りし日の福島県原ノ町の無線塔 (南相馬市博物館蔵)

予測が苦手であれば、ある程度の被害は覚悟しなければなりません。その時こそ、「人事のあえてよくする所」すなわち人間が得意とする「少しでも被害の範囲を減らす力」や「助け合って復興する力」に期待すべきではないでしょうか。

人間の得意とする力を、日頃から磨いておくことも地震防災の 重要な要素として加えておくべきではないかと思います。